

院あり群では65～74歳で89.9%、75～84歳で83.1%、85歳以上68.9%であり、両者ともに全年齢層で通院なし群で多く、85歳以上で少なかった。

これに対し、「限定的自立」である「壁や家具を伝わって」は通院なし群では4.9%、8.5%、19.1%、あり群では7.7%、12.2%、21.6%と両群共に85歳以上で多かった。この両者をあわせた「自立者計」は、通院なし群98.0%、96.4%、92.8%、あり群97.6%、95.3%、90.4%と大きな差はなかった。

これに対し、「部分的制限」の「誰かと一緒なら」、「全面的制限」の「ずり這い等で動いている」、「行っていない」にあたる「自力では動き回れない」は、全年齢層とも通院あり、なし群でほとんど差はなく、「非自立者計」は通院なし群1.0%、2.1%、6.1%、あり群1.7%、2.8%、7.3%とあり群でやや多いだけであった。

(2) 要介護認定者

要介護認定者について表6-2-1、6-2-2に示すように、全体的にみると「普遍的自

立」である「何もつかまらずに歩いている」は通院なし群で37.5%に対して、通院あり群32.4%であった。「限定的自立」である「壁や家具を伝わって歩いている」は通院なし群で33.3%に対して、通院あり群53.5%であった。通院あり群で自立者が多かった。

「ずり這い等で動いている」は通院なし群で6.4%、通院あり群3.6%であった。「自力では動き回れない」では通院なし群で15.1%、通院あり群6.2%で、通院なし群で多かった。

また要介護度毎にみると、要介護2で通院なし群の自立者が多く、要介護2から5の通院なし群で「自力では動き回れない」が多かった。

3) 外出頻度

外出頻度の状況を通院の有無で分け、非要介護認定者については表7-1、要介護認定者については表7-2に示す。

(1) 非要介護認定者

非要介護認定者について表7-1-1、7-1-2に示すように、「週4回以上」は通院なし

表6-1-1. 自宅内歩行状況の通院の有無による差 —非要介護認定者：通院なし—

	65-74歳			75-84歳			85歳以上		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
何もつかまらずに	847名 94.6%	979名 97.8%	1826名 93.1%	883名 90.2%	1051名 86.0%	1934名 87.9%	129名 79.6%	210名 70.5%	339名 73.7%
壁や家具を伝わって	29 3.2%	67 6.3%	96 4.9%	64 6.5%	124 10.1%	188 8.5%	27 16.7%	61 20.5%	88 19.1%
誰かと一緒なら	3 0.3%	11 1.0%	14 0.7%	10 1.0%	17 1.4%	27 1.2%	2 1.2%	9 3.0%	11 2.4%
ずり這い等で動いている	1 0.1%	1 0.1%	2 0.1%	1 0.1%	3 0.2%	4 0.2%	2 1.2%	7 2.3%	9 2.0%
自力では動き回れない	3 0.3%	0 0.0%	3 0.2%	7 0.7%	8 0.7%	15 0.7%	0 0.0%	8 2.7%	8 1.7%
回答なし	12 1.3%	9 0.8%	21 1.1%	14 1.4%	19 1.6%	33 1.5%	2 1.2%	3 1.0%	5 1.1%
合計	895 100%	1067 100%	1962 100%	979 100%	1222 100%	2201 100%	162 100%	298 100%	460 100%

表 6-1-2. 自宅内歩行状況の通院の有無による差 ー 非要介護認定者：通院ありー

	65-74歳			75-84歳			85歳以上		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
何もつかまらずに	1020 91.8%	1321 88.5%	2341 89.9%	2009 86.7%	2831 80.7%	4840 83.1%	313 73.5%	565 66.5%	878 68.9%
壁や家具を伝わって	70 6.3%	130 8.7%	200 7.7%	214 9.2%	495 14.1%	709 12.2%	73 17.1%	202 23.8%	275 21.6%
誰かと一緒なら	9 0.8%	20 1.3%	29 1.1%	27 1.2%	72 2.1%	99 1.7%	9 2.1%	25 2.9%	34 2.7%
ずり這い等で動いている	1 0.1%	3 0.2%	4 0.2%	7 0.3%	14 0.4%	21 0.4%	4 0.9%	14 1.6%	18 1.4%
自力では動き回れない	4 0.4%	2 0.1%	6 0.2%	23 1.0%	21 0.6%	44 0.8%	16 3.8%	25 2.9%	41 3.2%
回答なし	7 0.6%	16 1.1%	23 0.9%	37 1.6%	73 2.1%	110 1.9%	11 2.6%	18 2.1%	29 2.3%
合計	1111 100%	1492 100%	2603 100%	2317 100%	3506 100%	5823 100%	426 100%	849 100%	1275 100%

表 6-2-1. 自宅内歩行状況の通院の有無による差 ー 要介護認定者：通院なしー

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
何もつかまらずに	26 53.1%	52 46.4%	28 47.5%	6 15.0%	4 12.9%	1 4.8%	117 37.5%
壁や家具を伝わって	20 40.8%	49 43.8%	19 32.2%	13 32.5%	3 9.7%	0 0.0%	104 33.3%
誰かと一緒なら	2 4.1%	0 0.0%	0 0.0%	4 10.0%	7 22.6%	1 4.8%	14 4.5%
ずり這い等で動いている	0 0.0%	3 2.7%	4 6.8%	5 12.5%	6 19.4%	2 9.5%	20 6.4%
自力では動き回れない	0 0.0%	5 4.5%	6 10.2%	9 22.5%	10 32.3%	17 81.0%	47 15.1%
回答なし	1 2.0%	3 2.7%	2 3.4%	3 7.5%	1 3.2%	0 0.0%	10 3.2%
計	49 100%	112 100%	59 100%	40 100%	31 100%	21 100%	312 100%

表 6-2-2. 自宅内歩行状況の通院の有無による差 ー 要介護認定者：通院ありー

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
何もつかまらずに	313 47.1%	344 31.4%	136 25.3%	16 13.8%	10 13.7%	1 2.6%	820 32.4%
壁や家具を伝わって	324 48.7%	661 60.3%	306 57.0%	48 41.4%	10 13.7%	3 7.7%	1352 53.5%
誰かと一緒なら	7 1.1%	20 1.8%	20 3.7%	19 16.4%	7 9.6%	1 2.6%	74 2.9%
ずり這い等で動いている	13 2.0%	31 2.8%	32 6.0%	8 6.9%	5 6.8%	1 2.6%	90 3.6%
自力では動き回れない	2 0.3%	23 2.1%	32 6.0%	25 21.6%	41 56.2%	33 84.6%	156 6.2%
回答なし	6 0.9%	18 1.6%	11 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	35 1.4%
計	665 100%	1097 100%	537 100%	116 100%	73 100%	39 100%	2527 100%

群の65～74歳では57.2%、75～84歳43.5%、85歳以上以上29.1%、に対し通院あり群では51.4%、37.7%、27.1%と、すべての年齢層で通院なし群が多かった。

「週1回以上計」では通院なし群90.8%、85.0%、67.0%、あり群89.4%、84.6%、71.1%と差は少なくなった。

これに対し、「月1回以上」は通院なし群5.9%、7.2%、8.0%、あり群7.6%、6.9%、11.1%、「ほとんど外出していない」は、通院な

し群2.8%、6.1%、23.3%あり群2.3%、6.7%、16.4%で、特に85歳以上では通院あり群がむしろ外出頻度は少なかった。

(2) 要介護認定者

要介護認定者について表7-2-1、7-2-2に示すように、全体をみると、通院あり群が外出頻度は多かった。要介護別でも要支援で「週4日」以上が通院なし群で30.6%、通院あり群26.8%であった以外は通院あり群がすべて頻度は多かった。

表7-1-1. 外出頻度の状況の通院の有無による差 — 非要介護認定者：通院なし —

	65-74歳			75-84歳			85歳以上		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
週4回以上	550名 61.5%	572名 53.6%	1122名 57.2%	529名 54.0%	428名 35.0%	957名 43.5%	63名 38.9%	71名 23.8%	134名 29.1%
週2-3	190 21.2%	301 28.2%	491 25.0%	235 24.0%	374 30.6%	609 27.7%	35 21.6%	73 24.5%	108 23.5%
週1	72 8.0%	96 9.0%	168 8.6%	95 9.7%	209 17.1%	304 13.8%	21 13.0%	45 15.1%	66 14.3%
月1-3	49 5.5%	66 6.2%	115 5.9%	53 5.4%	105 8.6%	158 7.2%	10 6.2%	27 9.1%	37 8.0%
ほとんどなし	30 3.4%	25 2.3%	55 2.8%	53 5.4%	82 6.7%	135 6.1%	30 18.5%	77 25.8%	107 23.3%
回答なし	4 0.4%	7 0.7%	11 0.6%	14 1.4%	24 2.0%	38 1.7%	3 1.9%	5 1.7%	8 1.7%
合計	895 100%	1067 100%	1962 100%	979 100%	1222 100%	2201 100%	162 100%	298 100%	460 100%

表7-1-2. 外出頻度の状況の通院の有無による差 — 非要介護認定者：通院あり —

	65-74歳			75-84歳			85歳以上		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
週4回以上	642 57.8%	695 46.6%	1337 51.4%	1070 46.2%	1126 32.1%	2196 37.7%	143 33.6%	203 23.9%	346 27.1%
週2-3	281 25.3%	434 29.1%	715 27.5%	650 28.1%	1123 32.0%	1773 30.4%	98 23.0%	222 26.1%	320 25.1%
週1	88 7.9%	186 12.5%	274 10.5%	302 13.0%	655 18.7%	957 16.4%	78 18.3%	162 19.1%	240 18.8%
月1-3	66 5.9%	131 8.8%	197 7.6%	108 4.7%	296 8.4%	404 6.9%	41 9.6%	101 11.9%	142 11.1%
ほとんどなし	30 2.7%	31 2.1%	61 2.3%	152 6.6%	240 6.8%	392 6.7%	65 15.3%	144 17.0%	209 16.4%
回答なし	4 0.4%	15 1.0%	19 0.7%	35 1.5%	66 1.9%	101 1.7%	1 0.2%	17 2.0%	18 1.4%
合計	1111 100%	1492 100%	2603 100%	2317 100%	3506 100%	5823 100%	426 100%	849 100%	1275 100%

表 7-2-1. 外出頻度の状況の通院の有無による差 一 要介護認定者：通院なし

	要支援	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	計
週4回以上	15 30.6%	16 14.3%	2 3.4%	1 2.5%	3 9.7%	3 14.3%	40 12.8%
週2-3	11 22.4%	24 21.4%	16 27.1%	8 20.0%	7 22.6%	0 0.0%	66 21.2%
週1	12 24.5%	26 23.2%	13 22.0%	7 17.5%	5 16.1%	4 19.0%	67 21.5%
月1-3	1 2.0%	2 1.8%	4 6.8%	1 2.5%	2 6.5%	1 4.8%	11 3.5%
ほとんどなし	10 20.4%	40 35.7%	23 39.0%	20 50.0%	14 45.2%	13 61.9%	120 38.5%
回答なし	0 0.0%	4 3.6%	1 1.7%	3 7.5%	0 0.0%	0 0.0%	8 2.6%
計	49 100%	112 100%	59 100%	40 100%	31 100%	21 100%	312 100%

表 7-2-2. 外出頻度の状況の通院の有無による差 一 要介護認定者：通院あり

	要支援	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	計
週4回以上	178 26.8%	188 17.1%	72 13.4%	8 6.9%	7 9.6%	3 7.7%	456 18.0%
週2-3	231 34.7%	296 27.0%	132 24.6%	29 25.0%	16 21.9%	11 28.2%	715 28.3%
週1	141 21.2%	234 21.3%	99 18.4%	36 31.0%	13 17.8%	9 23.1%	532 21.1%
月1-3	28 4.2%	64 5.8%	22 4.1%	8 6.9%	9 12.3%	3 7.7%	134 5.3%
ほとんどなし	86 12.9%	307 28.0%	205 38.2%	35 30.2%	28 38.4%	13 33.3%	674 26.7%
回答なし	1 0.2%	8 0.7%	7 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	16 0.6%
計	665 100%	1097 100%	537 100%	116 100%	73 100%	39 100%	2527 100%

4) 活動状況

活動の状況を通院の有無で分け、非要介護認定者は表 8-1、要介護認定者は表 8-2 に示す。

(1) 非要介護認定者

非要介護認定者について表 8-1-1、8-1-2 に示すように、「外でもよく動いている」は通院なし群の 65~74 歳では 86.8%、75~84 歳 68.0%、85 歳以上 38.3% これに対し、通院あり群では 76.6%、50.8%、32.9% とすべての年齢層で通院あり群で少なく、「家の中ではよく

動いている」は両者で差はないが、これに対し、

「座っていることが多い」はなし群 7.6%、12.9%、25.2%、あり群 13.4%、22.5%、33.4% と 3 群ともにあり群で多い。「時々横になっている」は通院なし群 1.9%、4.2%、15.4%、あり群 4.8%、8.1%、14.3% と 85 歳以上以外であり群に多い。

「ほとんど横になっている」は通院なし群 0.3%、1.3%、5.7%、あり群 0.7%、1.9%、5.1% でほとんど差はない。

(2) 要介護認定者

要介護認定者について表 8-2-1、8-1

2-2に示すように、全体でみると「外でもよく動く」は通院なし群で10.3%に対して通院あり群で9.7%であった。「家の中ではよく動く」はなし群で11.5%に対して、あり群で15.5%であった。一方「ほとんど横になっている」はなし群で20.8%に対して、あり群で9.1%となし群で多く、あり群で活動性が高いといえる。

要介護度別にみると外出頻度と同様に要支援で「外でもよく動く」がなし群24.5%に対して、あり群18.8%と通院なし群で多い。しかし要支援でも「ほとんど横になっている」はなし群で20.8%、あり群で9.1%と通院なし群で多く、その他の要介護度別では通院なし群が活動性は低い。

表8-1-1. 一日の活動状況の通院の有無による差 ー非要介護認定者：通院なしー

	65-74歳			75-84歳			85歳以上		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
外でもよく動く	793名 88.6%	910名 85.3%	1703名 86.8%	713名 72.8%	783名 64.1%	1496名 68.0%	81名 50.0%	95名 31.9%	176名 38.3%
家の中ではよく動く	15 1.7%	41 3.8%	56 2.9%	79 8.1%	183 15.0%	262 11.9%	19 11.7%	47 15.8%	66 14.3%
座っていることが多い	63 7.0%	86 8.1%	149 7.6%	114 11.6%	170 13.9%	284 12.9%	34 21.0%	82 27.5%	116 25.2%
時々横になっている	15 1.7%	22 2.1%	37 1.9%	40 4.1%	53 4.3%	93 4.2%	21 13.0%	50 16.8%	71 15.4%
ほとんど横になっている	4 0.4%	2 0.2%	6 0.3%	15 1.5%	14 1.1%	29 1.3%	6 3.7%	20 6.7%	26 5.7%
回答なし	5 0.6%	6 0.6%	11 0.6%	18 1.8%	19 1.6%	37 1.7%	1 0.6%	4 1.3%	5 1.1%
合計	895 100%	1067 100%	1962 100%	979 100%	1222 100%	2201 100%	162 100%	298 100%	460 100%

表8-1-2. 一日の活動状況の通院の有無による差 ー非要介護認定者：通院ありー

	65-74歳			75-84歳			85歳以上		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
外でもよく動く	864 77.8%	1130 75.7%	1994 76.6%	1276 55.1%	1684 48.0%	2960 50.8%	159 37.3%	261 30.7%	420 32.9%
家の中ではよく動く	22 2.0%	69 4.6%	91 3.5%	278 12.0%	595 17.0%	873 15.0%	41 9.6%	124 14.6%	165 12.9%
座っていることが多い	150 13.5%	200 13.4%	350 13.4%	498 21.5%	811 23.1%	1309 22.5%	138 32.4%	288 33.9%	426 33.4%
時々横になっている	56 5.0%	69 4.6%	125 4.8%	170 7.3%	301 8.6%	471 8.1%	50 11.7%	132 15.5%	182 14.3%
ほとんど横になっている	10 0.9%	7 0.5%	17 0.7%	56 2.4%	56 1.6%	112 1.9%	31 7.3%	34 4.0%	65 5.1%
回答なし	9 0.8%	17 1.1%	26 1.0%	39 1.7%	59 1.7%	98 1.7%	7 1.6%	10 1.2%	17 1.3%
合計	1111 100%	1492 100%	2603 100%	2317 100%	3506 100%	5823 100%	426 100%	849 100%	1275 100%

表 8-2-1. 一日の活動状況の通院の有無による差 一 要介護認定者：通院なし

	要支援	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	計
外でもよく動く	12 24.5%	13 11.6%	3 5.1%	0 0.0%	4 12.9%	0 0.0%	32 10.3%
家の中ではよく動く	8 16.3%	18 16.1%	8 13.6%	2 5.0%	0 0.0%	0 0.0%	36 11.5%
座っていることが多い	17 34.7%	38 33.9%	19 32.2%	9 22.5%	8 25.8%	2 9.5%	93 29.8%
時々横になっている	6 12.2%	26 23.2%	17 28.8%	10 25.0%	7 22.6%	7 33.3%	73 23.4%
ほとんど横になっている	4 8.2%	13 11.6%	8 13.6%	16 40.0%	12 38.7%	12 57.1%	65 20.8%
回答なし	2 4.1%	4 3.6%	4 6.8%	3 7.5%	0 0.0%	0 0.0%	13 4.2%
計	49 100%	112 100%	59 100%	40 100%	31 100%	21 100%	312 100%

表 8-2-2. 一日の活動状況の通院の有無による差 一 要介護認定者：通院あり

	要支援	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	計
外でもよく動く	125 18.8%	90 8.2%	27 5.0%	2 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	244 9.7%
家の中ではよく動く	150 22.6%	170 15.5%	65 12.1%	5 4.3%	1 1.4%	0 0.0%	391 15.5%
座っていることが多い	267 40.2%	497 45.3%	207 38.5%	37 31.9%	24 32.9%	4 10.3%	1036 41.0%
時々横になっている	107 16.1%	269 24.5%	171 31.8%	34 29.3%	15 20.5%	7 17.9%	603 23.9%
ほとんど横になっている	12 1.8%	64 5.8%	59 11.0%	37 31.9%	31 42.5%	27 69.2%	230 9.1%
回答なし	4 0.6%	7 0.6%	8 1.5%	1 0.9%	2 2.7%	1 2.6%	23 0.9%
計	665 100%	1097 100%	537 100%	116 100%	73 100%	39 100%	2527 100%

I-3. 活動の状況：身体障害者手帳の有無による影響

我々はこれまで種々の研究を行うなかで、介護保険サービスの立場から「非要介護認定者」ということであたかも同質のものであるかのように扱われがちな集団を、生活機能の観点からは2つに分ける必要があるのではないかと考えるに到った。すなわち身体障害者福祉法による障害認定を受け、身体障害者手帳を有する群と、障害認定を受けず身体障害者手帳を有しない群の2つである。「身体障害者手帳」を有する群は、

介護を必要とするような状態（「活動」の低下）にはないが、身体障害者手帳交付の対象となるだけの「心身機能」の低下を有するものであり、それが「活動」「参加」などの、「生活機能」の他のレベルに悪影響を及ぼしている可能性が十分考えられるからである。

ここでは、このような視点から、身体障害者手帳の交付を受けているか否かによる差についての分析を行なった。

1) 屋外歩行

屋外歩行の状況を非要介護認定者のうち身体

障害者手帳非所持者については表9-1、所持者については表9-2に示す。

非要介護認定者のうち、「普遍的自立」である「遠くへも一人で歩いている」は身体障害者手帳非所持者では65～74歳58.9%、75～84歳37.5%、85歳以上18.7%、所持者は65～74歳33.9%、75～84歳26.0%、85歳以上13.0%で両者とも年齢とともに低下し、85歳以上は特に少なかった。全年齢層で非要介護認定者が多かった。

「限定的自立」である「近くであれば一人で歩いている」は非所持者32.2%、47.0%、52.6%に対し所持者47.0%、47.4%、46.9%と年齢が上がるるとともに多く、先にも述べた相殺現象がみられた。その「普遍的自立」と「限定的自立」の両者をあわせた「自立者計」は91.1%、84.5%、71.3%に対し80.4%、73.4%、59.9%であった。両者ともに年齢層が上がるるとともに下がっていたが、普遍的自立ほどシャープな落ち方ではなかった。年齢層別に若干の差があった。

「部分的制限」である「誰か一緒に歩

いている」は3.4%、5.9%、8.9%に対し6.5%、8.3%、13.6%であった。

「全面的制限」である「外は歩いていない」は4.3%、7.0%、16.1%、に対し11.2%、15.3%、23.7%であった。

「行っていない」である「外は歩けない」は0.1%、0.2%、0.7%に対し0.5%、1.3%、1.1%で、3者を合計した「非自立者計」は7.7%、13.1%、25.7%に対し18.2%、24.9%、38.4%と両者とも年齢層が上がるほど多かった。全年齢層において手帳所持者は非要介護認定者よりも要介護認定者は少なく、また要介護3、4に多いなど、自立度は低かった。介護予防の対象として手帳所持者を非所持者に比べて明確な対象と位置づける必要があると考えられる。

男女差を見ると、「遠くへも一人で歩いている」は所持者、非所持者ともに女性が少なく、例えば65～74歳では男性37.2%に対し女性が29.8%、75～84歳は29.1%対22.6%と85歳以上19.7%対7.9%と、女性が少なかった。

表9-1. 屋外歩行の状況 一非要介護認定者：身体障害者手帳非所持一

	65-74歳			75-84歳			85歳以上			総計
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	
遠くでも一人で	1147 名 63.0%	1358 名 55.8%	2505 名 58.9%	1313 名 44.0%	1504 名 33.2%	2817 名 37.5%	128名 23.6%	178名 16.3%	306名 18.7%	5628 名 42.0%
近くなら一人で	509 28.0%	862 35.4%	1371 32.2%	1249 41.8%	2287 50.4%	3536 47.0%	271 49.9%	589 53.9%	860 52.6%	5767 43.0%
誰かと一緒になら	50 2.7%	96 3.9%	146 3.4%	125 4.2%	320 7.1%	445 5.9%	45 8.3%	100 9.2%	145 8.9%	736 5.5%
ほとんど外は歩 いていない	96 5.3%	87 3.6%	183 4.3%	231 7.7%	299 6.6%	530 7.0%	80 14.7%	183 16.8%	263 16.1%	976 7.3%
外は歩けない	1 0.1%	1 0.0%	2 0.0%	8 0.3%	10 0.2%	18 0.2%	3 0.6%	8 0.7%	11 0.7%	31 0.2%
回答なし	18 1.0%	29 1.2%	47 1.1%	61 2.0%	115 2.5%	176 2.3%	16 2.9%	34 3.1%	50 3.1%	273 2.0%
合計	1821 100.0%	2433 100.0%	4254 100.0%	2987 100.0%	4535 100.0%	7522 100.0%	543 100.0%	1092 100.0%	1635 100.0%	13411 100.0%

表9-2. 屋外歩行の状況 ー 非要介護認定者：身体障害者手帳所持ー

	65-74 歳			75-84 歳			85 歳以上			総計
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	
遠くでも一人で	80名 37.2%	50名 29.8%	130名 33.9%	115名 29.1%	83名 22.6%	198名 26.0%	15名 19.7%	8名 7.9%	23名 13.0%	351名 26.5%
近くなら一人で	95 44.2%	85 50.6%	180 47.0%	176 44.6%	186 50.5%	362 47.4%	36 47.4%	47 46.5%	83 46.9%	625 47.2%
誰かと一緒なら	10 4.7%	15 8.9%	25 6.5%	38 9.6%	25 6.8%	63 8.3%	5 6.6%	19 18.8%	24 13.6%	112 8.5%
ほとんど外は歩いていない	26 12.1%	17 10.1%	43 11.2%	56 14.2%	61 16.6%	117 15.3%	16 21.1%	26 25.7%	42 23.7%	202 15.3%
外は歩けない	1 0.5%	1 0.6%	2 0.5%	3 0.8%	7 1.9%	10 1.3%	1 1.3%	1 1.0%	2 1.1%	14 1.1%
回答なし	3 1.4%	0 0.0%	3 0.8%	7 1.8%	6 1.6%	13 1.7%	3 3.9%	0 0.0%	3 1.7%	19 1.4%
合計	215 100.0%	168 100.0%	383 100.0%	395 100.0%	368 100.0%	763 100.0%	76 100.0%	101 100.0%	177 100.0%	1323 100.0%

2) 自宅内歩行

自宅内歩行の状況を非要介護認定者のうち身体障害者手帳非所持者については表10-1、所持者については表10-2に示す。

「普遍的自立」である「何もつかまらずに歩いている」は身体障害者手帳非所持者で65~74歳92.1%、75~84歳85.4%、85歳以上70.8%、に対し所持者で65~74歳77.8%、75~84歳69.6%、85歳以上56.5%と、年代を追う毎に自立度が減少していった。

「限定的自立」である「よく家具や壁をつたわっている」は非所持者で5.8%、10.1%、20.4%、に対して所持者で13.6%、21.4%、26.0%であった。両者とも年齢を追って増加していった。「普遍的自立」である「何もつかまらずに歩いている」と「限定的自立」である「よく壁をつたわっている」の合計である「自立計」は97.9%、95.5%、91.2%、に対し91.4%、91.0%、82.5%と、ほぼ同程度であった。すなわちここでも「相殺現象」がみられ、屋外歩行と同様に、このように「普遍的自立」と「限定的自立」との差を明確にすることで、比較的軽度な「活動」の低下も

鋭敏に検知することができることが再確認された。

「部分的制限」である「誰かと一緒に歩いている」は0.7%、1.4%、2.4%に対し、4.4%、3.1%、6.2%であった。

「全面的制限」である「ほとんどずっと這いなど」は0.0%、0.2%、1.5%に対し、1.0%、0.9%、1.7%であった。

「行っていない」である「ほとんどベッドや布団の上の生活」は0.1%、0.7%、2.3%に対し、1.6%、2.4%、7.9%であり、「非自立者計」は0.8%、2.3%、6.2%に対し、「非自立者計」は7.0%、6.4%、15.8%であった。両者とも年齢層別に並行して特に所持者で増加した。

このように一見健康と思われる在宅高齢者でもすでに自宅内歩行が自立していない、あきらかな「活動」低下を示すものが最初の二つの年齢層で非所持者が約0.8~2.3%、所持者が7%前後あり、85歳以上で非所持者が約6%、所持者が15%と、強と非自立度が増えた。それに加えて「限定的自立」の状態にある、いわば潜在的な生活機能低下群が年齢層別に順を追って非所

持者 5.8%、10.1%、20.4%に対して、所持者 13.6%、21.4%、26.0%で、存在することが注目される。

3) 外出頻度

外出頻度の状況を非要介護認定者のうち身体障害者手帳非所持者については表11-1、所持者については表11-2に示す。

非要介護認定者のうち「週4回以上」は、身体障害者手帳所持者では65～74歳41.5%、75

～84歳30.9%、85歳以上25.4%、身体障害者手帳非所持者は65～74歳54.6%、75～84歳39.5%、85歳以上27.0%と年齢層が上がるにつれて外出頻度が減少しているのがわかる。

「週2～3回」は身体障害者手帳所持者で26.9%、25.6%、20.3%に対し26.3%、29.9%、24.6%とほとんど同じであった。

「週1回」は10.2%、17.7%、16.9%に対し9.7%、15.4%、17.4%と増えていった。以上

表10-1. 自宅内歩行の状況 一非要介護認定者：身体障害者手帳非所持一

	65-74歳			75-84歳			85歳以上			総計
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	
何もつかまらずに	1717名 94.3%	2199名 90.4%	3916名 92.1%	2661名 89.1%	3764名 83.0%	6425名 85.4%	413名 76.1%	744名 68.1%	1157名 70.8%	11498名 85.7%
壁や家具を伝わって	74 4.1%	174 7.2%	248 5.8%	215 7.2%	543 12.0%	758 10.1%	92 16.9%	242 22.2%	334 20.4%	1340 10.0%
誰かと一緒なら	5 0.3%	23 0.9%	28 0.7%	23 0.8%	85 1.9%	108 1.4%	7 1.3%	32 2.9%	39 2.4%	175 1.3%
ずり這い等で動いている	0 0.0%	2 0.1%	2 0.0%	5 0.2%	13 0.3%	18 0.2%	6 1.1%	18 1.6%	24 1.5%	44 0.3%
自力では動き回れない	4 0.2%	1 0.0%	5 0.1%	27 0.9%	22 0.5%	49 0.7%	13 2.4%	24 2.2%	37 2.3%	91 0.7%
回答なし	21 1.2%	34 1.4%	55 1.3%	56 1.9%	108 2.4%	164 2.2%	12 2.2%	32 2.9%	44 2.7%	263 2.0%
合計	1821 100.0%	2433 100.0%	4254 100.0%	2987 100.0%	4535 100.0%	7522 100.0%	543 100.0%	1092 100.0%	1635 100.0%	13411 100.0%

表10-2. 自宅内歩行の状況 一非要介護認定者：身体障害者手帳所持一

	65-74歳			75-84歳			85歳以上			総計
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	
何もつかまらずに	171名 79.5%	127名 75.6%	298名 77.8%	295名 74.7%	236名 64.1%	531名 69.6%	48名 63.2%	52名 51.5%	100名 56.5%	929名 70.2%
壁や家具を伝わって	26 12.1%	26 15.5%	52 13.6%	70 17.7%	93 25.3%	163 21.4%	15 19.7%	31 30.7%	46 26.0%	261 19.7%
誰かと一緒なら	8 3.7%	9 5.4%	17 4.4%	14 3.5%	10 2.7%	24 3.1%	6 7.9%	5 5.0%	11 6.2%	52 3.9%
ずり這い等で動いている	2 0.9%	2 1.2%	4 1.0%	3 0.8%	4 1.1%	7 0.9%	0 0.0%	3 3.0%	3 1.7%	14 1.1%
自力では動き回れない	4 1.9%	2 1.2%	6 1.6%	6 1.5%	12 3.3%	18 2.4%	4 5.3%	10 9.9%	14 7.9%	38 2.9%
回答なし	4 1.9%	2 1.2%	6 1.6%	7 1.8%	13 3.5%	20 2.6%	3 3.9%	0 0.0%	3 1.7%	29 2.2%
合計	215 100.0%	168 100.0%	383 100.0%	395 100.0%	368 100.0%	763 100.0%	76 100.0%	101 100.0%	177 100.0%	1323 100.0%

を合計した「週1回以上」は78.6%、74.2%、62.6%に対し90.6%、84.8%、69.0%であった。

次いで「月1～3回」は12.3%、9.6%、13.0%に対し6.3%、6.6%、9.7%「ほとんどなし」は7.8%、12.7%、22.0%に対し2.1%、5.9%、17.6%であった。

このように低年齢層よりも高年齢層で、また男性よりも女性で外出頻度が少なかった。

4) 日中活動性

一日の活動状況を非要介護認定者のうち身体障害者手帳非所持者については表12-1、所持者については表12-2に示す。

非要介護認定者のうち、「外でもよく動く」は身体障害者手帳所持者で65～74歳82.6%、75～84歳56.5%、85歳以上以上33.9%に対し、

表11-1. 外出頻度の状況 一非要介護認定者：身体障害者手帳非所持一

	65-74歳			75-84歳			85歳以上			総計
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	
週4回以上	1107名 60.8%	1217名 50.0%	2324名 54.6%	1471名 49.2%	1503名 33.1%	2974名 39.5%	186名 34.3%	256名 23.4%	442名 27.0%	5740名 42.8%
週2-3	417 22.9%	700 28.8%	1117 26.3%	799 26.7%	1447 31.9%	2246 29.9%	129 23.8%	274 25.1%	403 24.6%	3766 28.1%
週1	148 8.1%	264 10.9%	412 9.7%	347 11.6%	810 17.9%	1157 15.4%	89 16.4%	195 17.9%	284 17.4%	1853 13.8%
月1-3	92 5.1%	178 7.3%	270 6.3%	132 4.4%	364 8.0%	496 6.6%	43 7.9%	116 10.6%	159 9.7%	925 6.9%
ほとんどなし	44 2.4%	44 1.8%	88 2.1%	168 5.6%	273 6.0%	441 5.9%	80 14.7%	207 19.0%	287 17.6%	816 6.1%
回答なし	13 0.7%	30 1.2%	43 1.0%	70 2.3%	138 3.0%	208 2.8%	16 2.9%	44 4.0%	60 3.7%	311 2.3%
合計	1821 100.0%	2433 100.0%	4254 100.0%	2987 100.0%	4535 100.0%	7522 100.0%	543 100.0%	1092 100.0%	1635 100.0%	13411 100.0%

表10-2. 外出頻度の状況 一非要介護認定者：身体障害者手帳所持一

	65-74歳			75-84歳			85歳以上			総計
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	
週4回以上	99名 46.0%	60名 35.7%	159名 41.5%	149名 37.7%	87名 23.6%	236名 30.9%	24名 31.6%	21名 20.8%	45名 25.4%	440名 33.3%
週2-3	57 26.5%	46 27.4%	103 26.9%	107 27.1%	88 23.9%	195 25.6%	10 13.2%	26 25.7%	36 20.3%	334 25.2%
週1	15 7.0%	24 14.3%	39 10.2%	56 14.2%	79 21.5%	135 17.7%	11 14.5%	19 18.8%	30 16.9%	204 15.4%
月1-3	24 11.2%	23 13.7%	47 12.3%	31 7.8%	42 11.4%	73 9.6%	9 11.8%	14 13.9%	23 13.0%	143 10.8%
ほとんどなし	17 7.9%	13 7.7%	30 7.8%	40 10.1%	57 15.5%	97 12.7%	20 26.3%	19 18.8%	39 22.0%	166 12.5%
回答なし	3 1.4%	2 1.2%	5 1.3%	12 3.0%	15 4.1%	27 3.5%	2 2.6%	2 2.0%	4 2.3%	36 2.7%
合計	215 100.0%	168 100.0%	383 100.0%	395 100.0%	368 100.0%	763 100.0%	76 100.0%	101 100.0%	177 100.0%	1323 100.0%

非所持者で65～74歳では58.0%、75～84歳39.6%、85歳以上31.6%であった。

「家の中ではよく動く」は所持者で65～74歳3.1%、75～84歳14.1%、85歳以上以上13.3%に対し、65～74歳では3.4%、75～84歳では14.0%、85歳以上では9.6%であった。

「座っていることが多い」は9.7%、18.7%、30.8%に対し、25.3%、29.0%、31.6%であった。

「時々横になっている」は3.1%、6.5%、14.3%に対し8.4%、10.1%、13.0%であった。

「ほとんど横になっている」は0.4%、1.6%、4.5%に対し1.8%、4.1%、10.7%であった。

このように両者共に「よく動いている」ことは高年齢層で少なく、逆に「座って過ごすことが多い」と「時々横になっている」、「ほとんど横になっていることが多い」は高年齢層で多かった。男女間に大きな差はなかった。

表12-1. 一日の活動量の状況 ー非要介護認定者：身体障害者手帳非所持ー

	65-74歳			75-84歳			85歳以上			総計
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	
外でもよく動く	1545名 84.8%	1970名 81.0%	3515名 82.6%	1854名 62.1%	2396名 52.8%	4250名 56.5%	220名 40.5%	334名 30.6%	554名 33.9%	8319名 62.0%
家の中ではよく動く	32 1.8%	102 4.2%	134 3.1%	314 10.5%	745 16.4%	1059 14.1%	57 10.5%	160 14.7%	217 13.3%	1410 10.5%
座っていることが多い	163 9.0%	248 10.2%	411 9.7%	506 16.9%	897 19.8%	1403 18.7%	154 28.4%	350 32.1%	504 30.8%	2318 17.3%
時々横になっている	54 3.0%	78 3.2%	132 3.1%	177 5.9%	315 6.9%	492 6.5%	65 12.0%	169 15.5%	234 14.3%	858 6.4%
ほとんど横になっている	11 0.6%	7 0.3%	18 0.4%	58 1.9%	60 1.3%	118 1.6%	31 5.7%	43 3.9%	74 4.5%	210 1.6%
回答なし	16 0.9%	28 1.2%	44 1.0%	78 2.6%	122 2.7%	200 2.7%	16 2.9%	36 3.3%	52 3.2%	296 2.2%
合計	1821 100.0%	2433 100.0%	4254 100.0%	2987 100.0%	4535 100.0%	7522 100.0%	543 100.0%	1092 100.0%	1635 100.0%	13411 100.0%

表12-2. 一日の活動量の状況 ー非要介護認定者：身体障害者手帳所持ー

	65-74歳			75-84歳			85歳以上			総計
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	
外でもよく動く	128名 59.5%	94名 56.0%	222名 58.0%	163名 41.3%	139名 37.8%	302名 39.6%	29名 38.2%	27名 26.7%	56名 31.6%	580名 43.8%
家の中ではよく動く	5 2.3%	8 4.8%	13 3.4%	53 13.4%	54 14.7%	107 14.0%	4 5.3%	13 12.9%	17 9.6%	137 10.4%
座っていることが多い	53 24.7%	44 26.2%	97 25.3%	117 29.6%	104 28.3%	221 29.0%	24 31.6%	32 31.7%	56 31.6%	374 28.3%
時々横になっている	18 8.4%	14 8.3%	32 8.4%	35 8.9%	42 11.4%	77 10.1%	7 9.2%	16 15.8%	23 13.0%	132 10.0%
ほとんど横になっている	4 1.9%	3 1.8%	7 1.8%	15 3.8%	16 4.3%	31 4.1%	8 10.5%	11 10.9%	19 10.7%	57 4.3%
回答なし	7 3.3%	5 3.0%	12 3.1%	12 3.0%	13 3.5%	25 3.3%	4 5.3%	2 2.0%	6 3.4%	43 3.3%
合計	215 100.0%	168 100.0%	383 100.0%	395 100.0%	368 100.0%	763 100.0%	76 100.0%	101 100.0%	177 100.0%	1323 100.0%

Ⅱ. 歩行困難の状況とその理由

1) 歩行困難の状況

本人が歩くことに難しさを感じるかどうかをきいた結果を非要介護認定者については表13-1、要介護認定者では表13-2に示す。

非要介護認定者の年齢別には65～74才では「歩行困難あり」は31.9%であるが、75～84才では53.5%と半数以上になり、85才～では74.2%と年齢層が高くなるほど約20%強ずつ増加していた。全数でも49.2%とほぼ半数が歩行に困難を感じていた。

男女別にみると、どの年齢層でも男性よりも女性に「あり」の人が8～16%多かった。最も多いのは85才以上の女性で、77.4%と約4分の3が歩行に困難を感じていた。

要介護認定者ではの要介護度別では「あり」は要支援では、85.1%で、要介護度3～5で9割以上であった。

2) 歩行困難の理由

次に前問で歩行困難「あり」と答えた非要介護認定者7254名について歩行困難の理由をきいたものを、非要介護認定者について表14-1、要介護認定者について14-2に示す。

重複回答のため、比率は対象群全体（歩行困難を感じていない人も含む）の中の率で示している。まず全体的に多い順からみると、「足の関節の痛み」が18.6%（歩行困難者7254名の中では37.8%）、ついで「足の力が落ちた」18.1%（36.8%）、「腰痛」15.8%（32.1%）、「歩く速さが遅い」13.2%（26.9%）、「疲れやすい」12.8%（26.0%）、「つまづきやすい」9.8%（19.8%）「耳が聞こえにくい」6.8%（13.8%）、「ふらつく」5.7%（11.6%）、「目が見えにくい」4.9%（10.0%）であった。

表13-1 歩行困難の有無－非要介護認定者：年齢別－

	65-74			75-84			85-			合計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
なし	1463名 71.9%	1637名 62.9%	3100名 66.9%	1817名 53.7%	1838名 37.5%	3655名 44.1%	178名 28.8%	243名 20.4%	421名 23.2%	7176名 48.7%
あり	553 27.2%	927 35.6%	1480 31.9%	1489 44.0%	2941 60.0%	4430 53.5%	421 68.0%	923 77.4%	1344 74.2%	7254 49.2%
返答なし	20 1.0%	37 1.4%	57 1.2%	76 2.2%	124 2.5%	200 2.4%	20 3.2%	27 2.3%	47 2.6%	304 2.1%
計	2036 100%	2601 100%	4637 100%	3382 100%	4903 100%	8285 100%	619 100%	1193 100%	1812 100%	14734 100%

表13-2 歩行困難の有無－要介護認定者：要介護度別－

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
なし	101名 14.1%	115名 9.4%	66名 10.9%	9名 5.8%	6名 5.7%	4名 6.7%	301名 10.5%
あり	612 85.1%	1097 89.8%	532 87.9%	144 92.3%	98 93.3%	56 93.3%	2539 88.6%
返答なし	6 0.8%	9 0.7%	7 1.2%	3 1.9%	1 1.0%	0 0.0%	26 0.9%
計	719 100%	1221 100%	605 100%	156 100%	105 100%	60 100%	2866 100%

通常歩行困難の原因という運動器関係の問題だけを考えがちであるが、このように運動器以外の症状である「疲れやすい」、「耳が聞こえない」、「目が見えにくい」(4.9%~12.8%、歩行困難者の10.0%~26.0%)を原因とする場合も決して少なくないことは注目すべきことである。

年齢別に見ると、65-74才、75-84才とでは「足の関節の痛み」が最も多く13.6%、20.6%、(歩行困難者の42.6%、38.5%)、85才-では「足の力が落ちた」が34.7%(46.8%)で最も多かった。

「目が見えにくい」が、65-74才では2.8%(8.6%)、75-84才では5.1%(9.5%)、85才-では9.8%(13.2%)で、「耳が聞こえにくい」が、65-74才では2.2%(6.8%)、75-84才では7.0%(13.2%)、85才-では17.5%(23.6%)と、年齢とともに歩行困難者の中での視覚・聴覚が原因となる人の比率が増えていく傾向も明らかであった。

歩行困難の理由が1つだけだった人は2,892名と、全体の19.6%(歩行困難者の39.9%)で最も多かった。歩行困難者の中のその他約6割は複数の理由をもっていた。その中で2つの理由がある人が1579名で10.7%(21.8%)であった。

年齢別に見ると非要介護認定者では、理由1つが、65-74才では776名16.7%(52.4%)と半数以上である、75-84才では1699名20.5%(38.4%)、85才-では417名23.0%(31.0%)と複数の理由がある人が多くなっている。

要介護認定者でも同様に、理由が1つの人が最も多く、634名と19.8%(23.4%)であった。複数の理由のある人は歩行困難者の7.5割と多かった。その中で最も多いのは2つの理由のあ

る人で、498名で11.7%(18.4%)であった。

次に要介護認定者について前問で歩行困難「あり」と答えた2539名についての歩行困難の理由を示したものが表14-2である。多い順からみると、「足の力が落ちた」が全体(歩行困難を感じられない人も含む)の56.4%(歩行困難者2539名の中で63.6%)、ついで「つまづきやすい」37.9%(42.8%)、「疲れやすい」33.4%(37.7%)、「足の関節の痛み」33.0%(37.3%)、「ふらつく」32.5%(36.7%)、「歩く速さが遅い」30.6%(34.5%)「腰痛」30.0%(33.9%)、「耳が聞こえにくい」13.7%(15.5%)、「目が見えにくい」13.0%(14.7%)、「その他」10.1%(11.4%)であった。

要介護度別に全てで「足の力が落ちた」が最も多かった。

なお「目が見えにくい」が、要支援では13.4%(15.7%)、要介護1:14.9%(16.6%)、要介護2:10.9%(12.4%)、要介護3:12.2%(13.2%)、要介護4:6.7%(7.1%)、要介護5:5.0%(5.4%)で、「耳が聞こえにくい」が、要支援:12.5%(14.7%)、要介護1:15.1%(16.8%)、要介護2:13.9%(15.8%)、要介護3:13.5%(14.6%)、要介護4:10.5%(11.2%)、要介護5:5.0%(5.4%)と、要介護度が重くなるほど割合は減っていた。

3) 屋外歩行自立度別の歩行困難の状況

次に屋外歩行の歩行困難の状況(自立度)別に、「歩くことの難しさ」の有無をみたものを、全体は表15-1、非要介護認定者については表15-2、と要介護認定者については表15-3に示す。

表 1 4 - 1 歩行困難の理由 - 非要介護認定者：年齢別 -

	65-74			75-84			85-			合計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
足の関節の痛み	185名 9.1%	445名 17.1%	630名 13.6%	452名 13.4%	1255名 25.6%	1707名 20.6%	119名 19.2%	286名 24.0%	405名 22.4%	2742名 18.6%
足の力が落ちた	181 8.9%	218 8.4%	399 8.6%	609 18.0%	1032 21.0%	1641 19.8%	232 37.5%	397 33.3%	629 34.7%	2669 18.1%
腰痛	170 8.3%	327 12.6%	497 10.7%	411 12.2%	1090 22.2%	1501 18.1%	93 15.0%	240 20.1%	333 18.4%	2331 15.8%
歩く速度が遅い	103 5.1%	181 7.0%	284 6.1%	385 11.4%	891 18.2%	1276 15.4%	136 22.0%	254 21.3%	390 21.5%	1950 13.2%
疲れやすい	110 5.4%	209 8.0%	319 6.9%	385 11.4%	827 16.9%	1212 14.6%	126 20.4%	230 19.3%	356 19.6%	1887 12.8%
つまづきやすい	74 3.6%	108 4.2%	182 3.9%	293 8.7%	641 13.1%	934 11.3%	102 16.5%	219 18.4%	321 17.7%	1437 9.8%
耳が聞こえにくい	54 2.7%	47 1.8%	101 2.2%	230 6.8%	354 7.2%	584 7.0%	98 15.8%	219 18.4%	317 17.5%	1002 6.8%
ふらつく	37 1.8%	59 2.3%	96 2.1%	181 5.4%	327 6.7%	508 6.1%	81 13.1%	156 13.1%	237 13.1%	841 5.7%
目が見えにくい	51 2.5%	77 3.0%	128 2.8%	121 3.6%	299 6.1%	420 5.1%	45 7.3%	133 11.1%	178 9.8%	726 4.9%
その他	29 1.4%	25 1.0%	54 1.2%	72 2.1%	97 2.0%	169 2.0%	15 2.4%	32 2.7%	47 2.6%	270 1.8%
計	994 48.8%	1696 65.2%	2690 58.0%	3139 92.8%	6813 72.0%	9952 120.1%	1047 169.1%	2166 181.6%	3213 177.3%	15855 107.6%

表 1 4 - 2 歩行困難の理由 - 要介護認定者：要介護度別 -

	要支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
足の力が落ちた	366名 50.9%	718名 58.8%	357名 59.0%	91名 58.3%	56名 53.3%	27名 45.0%	1615名 56.4%
つまづきやすい	254 35.3%	480 39.3%	251 41.5%	59 37.8%	34 32.4%	9 15.0%	1087 37.9%
疲れやすい	257 35.7%	432 35.4%	197 32.6%	45 28.9%	20 19.1%	5 8.3%	956 33.4%
足の関節の痛み	257 35.7%	437 35.8%	181 29.9%	42 26.9%	22 21.0%	8 13.3%	947 33.0%
ふらつく	211 29.4%	407 33.3%	219 36.2%	55 35.3%	30 28.6%	10 16.7%	932 32.5%
歩く速度が遅い	222 30.9%	399 32.7%	191 31.6%	38 24.4%	20 19.1%	6 10.0%	876 30.6%
腰痛	275 38.3%	382 31.3%	151 25.0%	34 21.8%	14 13.3%	5 8.3%	861 30.0%
耳が聞こえにくい	90 12.5%	184 15.1%	84 13.9%	21 13.5%	11 10.5%	3 5.0%	393 13.7%
目が見えにくい	96 13.4%	182 14.9%	66 10.9%	19 12.2%	7 6.7%	3 5.0%	373 13.0%
その他	50 7.0%	106 8.7%	69 11.4%	20 12.8%	22 21.0%	23 38.3%	290 10.1%
計	2078 289.0%	3727 305.2%	1766 291.9%	424 271.8%	236 224.8%	99 165.0%	8330 290.6%

普遍的自立である「遠くへ一人で歩いている」の状態である人でさえ、非要介護認定者中26.9%、要介護認定者では実に61.9%が歩く難しさを感じていたが、更に環境限定的自立である「近くなら一人で歩いている」になると62.1%、86.5%と一層高率になった。このように歩行が自立していても、歩くことの困難を感じている人が非常に多いことは注目すべきことである。

またこのように屋外歩行が一応自立しているといっても、普遍的自立と限定的自立とでは歩行困難の程度が大きく異なっていた。このことから、普遍的自立と限定的自立を明確に区別することに大きな意味があることが再確認された。

更に「誰かと一緒なら歩いている」は非要介護認定者67.6%、要介護認定者91.5%、「外は歩いていない」は78.6%、94.9%、「外は歩けない」は100%、96.1%であり、屋外歩行自立度が同じであっても非要介護認定者に比べ要介護認定者では歩行困難を感じている人が概して多かった。

4) 屋外歩行自立度別の歩行困難の理由

歩行困難の理由を、非要介護認定者については表16-1、要介護認定者では表16-2に示す。

全体をみると、まず注目されるのは非要介護認定者にくらべて要介護認定者で複数の理由をあげている人が多いことである。すなわち理由としてあげている項目の累計は、非要介護認定者では107.0%（歩行困難者の中の218.6%）、要介護認定者では287.9%（同324.0%）であった。すなわち歩行困難者一人あたり非要介護認定者では約2.2、要介護認定者では同3.2の歩行困難の原因をもっていたことになる。

次にその内容をみると、非要介護認定者では

「足の関節の痛み」「足の力が落ちた」「腰痛」の順番であり、要介護認定者では「足の力が落ちた」「つまづきやすい」「足の関節の痛み」の順であった。歩行困難の理由として非要介護認定者で最も多い「足の関節の痛み」は歩行困難者の37.8%、要介護認定者で最も多い「足の力が落ちた」は同62.6%と多くの人で認められた。

「目が見えにくい」が原因の人は歩行困難者のうち非要介護認定者では10.0%、要介護認定者では14.5%、「耳が聞こえにくい」は13.8%、15.2%であった。

屋外歩行自立度別にみると、非要介護認定者では「遠くへ一人で歩いている」では「足の関節の痛み」が9.9%と一番多かったが、「近くなら一人で歩いている」ではそれが24.0%になり、「誰かと一緒なら歩いている」26.1%「外は歩いていない」27.8%、「外は歩けない」31.1%と自立度が低くなるほど多くなっていた。しかし「誰かと一緒なら歩いている」以降では「足の力が落ちたこと」が26.4%、33.0%、40.0%と原因として「足の関節の痛み」より多くなった。

要介護認定者では全ての自立度で「足の力が落ちたこと」が最も多く、概して自立度が低くなるほど比率は高くなっていた。

5) 自宅内歩行の自立度と歩行困難の状況

自宅内歩行の自立度別の歩行困難の状況を、非要介護認定者については表17-1、要介護認定者では表17-2に示す。普遍的自立である「何もつかまらずに歩いている」の非要介護認定者では、43.6%、要介護認定者では76.4%が歩く難しさを感じていた。環境限定的自立である「壁や家具を伝わって歩いている」では83.8%、95.4%と自立していても歩行困難を感じる人は極めて多く、屋外歩行と同様に、普遍

的自立と限定的自立での歩行困難の状況は大きく異なっていた（ $p < 0.001$ ）。

「誰かと一緒なら歩いている」では 81.8%、98.1%、「ずり這い等で動いている」では 94.8%、98.3%、「自力では動き回れない」では 89.9%、96.1%と屋内歩行非自立者ではほぼ全員が歩く難しさを感じていた。

6) 屋内歩行自立度別の歩行困難の理由

歩行困難の理由を非要介護認定者について表 18-1、要介護認定者について表 18-2 に示す。

歩行困難の理由は、非要介護認定者で自立者では「足の関節の痛み」が一番多く 16%～37%（歩行低下者の 37%～44%）であったが、非自立者である「誰かと一緒なら歩いている」以下では「足の力が落ちた」が 30%～47%（歩行困難者の 33%～49%）で「足の関節の痛み」より多かった。要介護認定者では自立・非自立にかかわらずすべての自立度で「足の力が落ちた」が一番多い原因であり、41%～64%（歩行低下者の 45%～65%）と多かった。

表 15-1 歩行困難の有無：屋外歩行自立度別

—全体—

	遠くへも一人で歩いている	近くなら一人で歩いている	誰かと一緒なら歩いている	外は歩いている	外は歩けない	返答なし	総計
なし	4351名 70.9%	2473名 32.2%	300名 22.6%	283名 13.7%	7名 3.1%	76名 21.6%	7490名 42.1%
あり	1703 27.8%	5077 66.2%	1013 76.2%	1772 85.6%	217 96.9%	178 50.6%	9960 56.0%
返答なし	80 1.3%	122 1.6%	16 1.2%	14 0.7%	0 0.0%	98 27.8%	330 1.9%
計	6134 100%	7672 100%	1329 100%	2069 100%	224 100%	352 100%	17780 100%

表 15-2 歩行困難の有無：屋外歩行自立度別 —非要介護認定者—

	遠くへも一人で	近くなら一人で	誰かと一緒なら	外は歩いている	外は歩けない	返答なし	計
なし	4292名 71.8%	2307名 36.1%	263名 31.0%	241名 20.5%	0名 0.0%	73名 25.0%	7176名 48.7%
あり	1607 26.9%	3970 62.1%	573 67.6%	926 78.6%	45 100.0%	133 45.5%	7254 49.2%
返答なし	80 1.3%	115 1.8%	12 1.4%	11 0.9%	0 0.0%	86 29.5%	304 2.1%
計	5979 100%	6392 100%	848 100%	1178 100%	45 100%	292 100%	14734 100%

表 15-3 歩行困難の有無：屋外歩行自立度別 ー要介護認定者ー

	遠くへ も一人 で	近くな ら一人 で	誰かと 一緒な ら	外は歩 いてい ない	外は歩 けない	返答な し	計
なし	59名 38.1%	166名 13.0%	37名 7.7%	42名 4.7%	7名 3.9%	3名 5.0%	314名 10.3%
あり	96 61.9%	1107 86.5%	440 91.5%	846 94.9%	172 96.1%	45 75.0%	2706 88.8%
返答なし	0 0.0%	7 0.5%	4 0.8%	3 0.3%	0 0.0%	12 20.0%	26 0.9%
計	155 100%	1280 100%	481 100%	891 100%	179 100%	60 100%	3046 100%

表 16-1 歩行困難の理由：屋外歩行自立度別 ー非要介護認定者ー

	遠くへ も一人 で	近くな ら一人 で	誰かと 一緒な ら	外は歩 いてい ない	外は歩 けない	返答な し	計
足の関節の痛み	591名 9.9%	1537名 24.0%	221名 26.1%	327名 27.8%	14名 31.1%	52名 17.8%	2742名 18.6%
足の力が落ちた	495 8.3%	1502 23.5%	224 26.4%	389 33.0%	18 40.0%	41 14.0%	2669 18.1%
腰痛	458 7.7%	1352 21.2%	179 21.1%	297 25.2%	7 15.6%	38 13.0%	2331 15.8%
歩く速さが遅い	379 6.3%	1151 18.0%	173 20.4%	199 16.9%	10 22.2%	38 13.0%	1950 13.2%
疲れやすい	350 5.9%	1103 17.3%	170 20.0%	224 19.0%	10 22.2%	30 10.3%	1887 12.8%
つまづきやすい	226 3.8%	814 12.7%	143 16.9%	216 18.3%	12 26.7%	26 8.9%	1437 9.8%
耳が聞こえにくい	223 3.7%	542 8.5%	75 8.8%	133 11.3%	8 17.8%	21 7.2%	1002 6.8%
ふらつく	93 1.6%	424 6.6%	99 11.7%	191 16.2%	15 33.3%	19 6.5%	841 5.7%
目が見えにくい	133 2.2%	396 6.2%	65 7.7%	118 10.0%	5 11.1%	9 3.1%	726 4.9%
その他	45 0.8%	114 1.8%	27 3.2%	70 5.9%	7 15.6%	7 2.4%	270 1.8%
計	2993 50.1%	8935 139.8%	1376 162.3%	2164 183.7%	106 235.6%	281 96.2%	15855 107.6%

表 16-2 歩行困難の理由：屋外歩行自立度別 一 要介護認定者一

	遠くへ も一人 で	近くな ら一人 で	誰かと 一緒な ら	外は歩 いてい ない	外は歩 けない	返答な し	計
足の力が落ちた	41名 26.5%	683名 53.4%	295名 61.3%	546名 61.3%	102名 57.0%	28名 46.7%	1695名 55.6%
つまづきやすい	24 15.5%	485 37.9%	196 40.7%	365 41.0%	53 29.6%	17 28.3%	1140 37.4%
足の関節の痛み	37 23.9%	444 34.7%	141 29.3%	319 35.8%	60 33.5%	13 21.7%	1014 33.3%
疲れやすい	29 18.7%	432 33.8%	175 36.4%	304 34.1%	40 22.3%	15 25.0%	995 32.7%
ふらつく	19 12.3%	386 30.2%	166 34.5%	333 37.4%	56 31.3%	18 30.0%	978 32.1%
腰痛	25 16.1%	435 34.0%	130 27.0%	266 29.9%	44 24.6%	16 26.7%	916 30.1%
歩く速度が遅い	24 15.5%	400 31.3%	165 34.3%	273 30.6%	36 20.1%	16 26.7%	914 30.0%
耳が聞こえにくい	10 6.5%	200 15.6%	62 12.9%	106 11.9%	28 15.6%	5 8.3%	411 13.5%
目が見えにくい	11 7.1%	162 12.7%	67 13.9%	123 13.8%	24 13.4%	5 8.3%	392 12.9%
その他	10 6.5%	88 6.9%	50 10.4%	118 13.2%	37 20.7%	10 16.7%	313 10.3%
計	230 148.4%	3715 290.2%	1447 300.8%	2753 309.0%	480 268.2%	143 238.3%	8768 287.9%

表 17-1 歩行困難の有無：自宅内歩行自立度別 一 非要介護認定者一

	何もつ かまら ずに	壁や家 具を伝 わって	誰かと 一緒な ら	ずり這 い等で 動いて いる	自力で は動き 回れな い	返答な し	計
なし	6808名 54.8%	239名 14.9%	38名 16.7%	3名 5.2%	9名 7.0%	79名 27.1%	7176名 48.7%
あり	5415 43.6%	1341 83.8%	184 81.1%	55 94.8%	116 89.9%	143 49.0%	7254 49.2%
返答なし	204 1.6%	21 1.3%	5 2.2%	0 0.0%	4 3.1%	70 24.0%	304 2.1%
計	12427 100%	1601 100%	227 100%	58 100%	129 100%	292 100%	14734 100%

表 17-2 歩行困難の有無：自宅内歩行自立度別 一 要介護認定者一

	何もつ かまら ず	壁や家 具を伝 わって	誰かと 一緒な ら	ずり這 い等で 動いて いる	自力で は動き 回れな い	車いす を自分 でこい ている	車いす を押し てもら う	返答な し	計
なし	235名 23.2%	65名 4.2%	0名 0.0%	1名 0.9%	6名 3.3%	1名 10.0%	2名 9.1%	4名 7.3%	314名 10.3%
あり	774 76.4%	1476 95.4%	101 98.1%	114 98.3%	173 96.1%	9 90.0%	20 90.9%	39 70.9%	2706 88.8%
返答なし	4 0.4%	6 0.4%	2 1.9%	1 0.9%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	12 21.8%	26 0.9%
計	1013 100%	1547 100%	103 100%	116 100%	180 100%	10 100%	22 100%	55 100%	3046 100%

表 18-1 歩行困難の理由：自宅内歩行自立度別 — 非要介護認定者 —

	何もつかまらずに	壁や家具を伝わって	誰かと一緒なら	ずり這い等で動いている	自力では動き回れない	返答なし	計
足の関節の痛み	1980名 15.9%	596名 37.2%	73名 32.2%	24名 41.4%	21名 16.3%	48名 16.4%	2742名 18.6%
足の力が落ちた	1904 15.3%	587 36.7%	84 37.0%	27 46.6%	38 29.5%	29 9.9%	2669 18.1%
腰痛	1738 14.0%	448 28.0%	62 27.3%	11 19.0%	28 21.7%	44 15.1%	2331 15.8%
歩く速度が遅い	1417 11.4%	421 26.3%	54 23.8%	9 15.5%	16 12.4%	33 11.3%	1950 13.2%
疲れやすい	1434 11.5%	341 21.3%	58 25.6%	6 10.3%	17 13.2%	31 10.6%	1887 12.8%
つまづきやすい	923 7.4%	412 25.7%	50 22.0%	8 13.8%	21 16.3%	23 7.9%	1437 9.8%
耳が聞こえにくい	708 5.7%	220 13.7%	33 14.5%	7 12.1%	15 11.6%	19 6.5%	1002 6.8%
ふらつく	441 3.5%	315 19.7%	38 16.7%	11 19.0%	22 17.1%	14 4.8%	841 5.7%
目が見えにくい	477 3.8%	193 12.1%	23 10.1%	11 19.0%	14 10.9%	8 2.7%	726 4.9%
その他	167 1.3%	54 3.4%	6 2.6%	9 15.5%	26 20.2%	8 2.7%	270 1.8%
計	11189 90.0%	3587 224.0%	481 211.9%	123 212.1%	218 169.0%	257 88.0%	15855 107.6%

表 18-2 歩行困難の理由：自宅内歩行自立度別 — 要介護認定者 —

	何もつかまらずに	壁や家具を伝わって	誰かと一緒なら	ずり這い等で動いている	自力では動き回れない	車いすを自分でこいでいる	車いすを押しってもらう	返答なし	計
足の力が落ちた	440名 43.4%	989名 63.9%	66名 64.1%	71名 61.2%	91名 50.6%	5名 50.0%	9名 40.9%	24名 43.6%	1695名 55.6%
つまづきやすい	261 25.8%	731 47.3%	47 45.6%	42 36.2%	37 20.6%	2 20.0%	7 31.8%	13 23.6%	1140 37.4%
足の関節の痛み	238 23.5%	625 40.4%	37 35.9%	48 41.4%	42 23.3%	3 30.0%	8 36.4%	13 23.6%	1014 33.3%
疲れやすい	295 29.1%	599 38.7%	30 29.1%	20 17.2%	35 19.4%	0 0.0%	4 18.2%	12 21.8%	995 32.7%
ふらつく	203 20.0%	624 40.3%	40 38.8%	44 37.9%	46 25.6%	3 30.0%	5 22.7%	13 23.6%	978 32.1%
腰痛	242 23.9%	563 36.4%	26 25.2%	33 28.4%	40 22.2%	0 0.0%	3 13.6%	9 16.4%	916 30.1%
歩く速度が遅い	265 26.2%	552 35.7%	30 29.1%	24 20.7%	26 14.4%	0 0.0%	4 18.2%	13 23.6%	914 30.0%
耳が聞こえにくい	121 11.9%	239 15.4%	12 11.7%	19 16.4%	13 7.2%	2 20.0%	0 0.0%	5 9.1%	411 13.5%
目が見えにくい	107 10.6%	235 15.2%	13 12.6%	19 16.4%	16 8.9%	0 0.0%	1 4.5%	1 1.8%	392 12.9%
その他	74 7.3%	137 8.9%	11 10.7%	16 13.8%	62 34.4%	2 20.0%	5 22.7%	6 10.9%	313 10.3%
計	2246 221.7%	5294 342.2%	312 302.9%	336 289.7%	408 226.7%	17 170.0%	46 209.1%	109 198.2%	8768 287.9%

Ⅲ. 歩行補助具の使用状況

介護予防とは「活動」(生活行為)について介護を必要とする状態になることを防ぐことである。その際、様々な活動の中でも、特に歩行はあらゆる活動の基本となるものとして重視しなければならない。すなわち生活行為はほとんど何らかの移動を伴うものであることの認識が重要である。

しかしながらこれまでの介護予防のプログラムでは歩行への「活動」レベルでの働きかけが不十分である。これはこれまで主任研究者が種々の機会に指摘してきたことであり、また、厚生労働省老健局高齢者リハビリテーション研究会報告書でも「つくられた歩行不能」の原因として警告されている。また、前述した「Ⅱ. 歩行困難」の結果でも明らかなように、高齢者では歩行困難のある人は予想以上に多いことが今回の研究でも確認されており、実用歩行向上にむけての働きかけは介護予防のケアマネジメントの要となるものと考えられる。

そこで地域生活高齢者における車いす及び歩行補助具の使用の実態を調査した。実用歩行の向上のために、歩行補助具の活用が極めて有効であり、一方車いす使用については適応を十分に考慮しないと「つくられた歩行不能」の一因となる可能性が高いからである。そのため歩行補助具や車いすが、有効かつ適切に選択され使われているか否かについて検討した。

調査目的が歩行補助具に関するものであるため、対象者を歩行補助具によって歩行の「質」もしくは「量」の向上の可能性が高いと考えられる神経筋骨格と運動に関連する機能(b710-b789)、および運動耐用能(b455)の低下者とした。運動障害以外で歩行に大きな影響を与

える可能性のある認知症、精神疾患、知的障害、意識障害、視力低下や聴覚低下については、そのみが理由の者、また他と合併しているが、それが主となっている可能性が高い者は対象から除外した。

1. 歩行補助具と車いすの使用状況

歩行補助具と車いすの使用状況を、屋外歩行自立度別に、非要介護認定者については表19-1、要介護認定者については表19-2に示した。

非要介護認定者では、全体として12367名中、歩行補助具使用者は単独使用1805名(14.6%)、車いすとの併用118名(1.0%)をあわせて1923名(15.5%)、車いす使用者は単独使用42名(0.3%)、歩行補助具との併用を含めて160名(1.3%)である。

次に屋外歩行自立度毎にみると、普遍的自立である「遠くへも一人で歩いている」では、歩行補助具の使用者は4.9%、車いすとの併用者0.2%をあわせて5.1%であり、車いすの単独使用者は0%で、歩行補助具との併用を含めて0.2%であった。

限定的自立である「近くなら一人で歩いている」では歩行補助具使用は単独19.7%と普遍的自立の4倍となり、併用者の0.8%を合わせて20.5%であり、車いすの単独使用者が0.1%、歩行補助具との併用を含めて0.9%であったが、併用者の車いす使用は常時ではなく、外出時に時々使用しているものであった。

次いで部分的制限である「誰かと一緒に歩いている」では、歩行補助具使用は単独28.1%、併用2.3%、あわせて30.4%であり、車いす使用は単独0.1%、歩行補助具との併用を含めて